



湯野浜温泉

善宝寺

大山上池・下池

- ・ラムサール条約登録湿地
- ・日本の「ため池百選」

アクセスMap



おうら愛鳥館

ラムサール条約とは

正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。

地域を代表する希少な湿地や生物多様性の維持に重要な湿地などが登録される。

1971年にイランのラムサールで締結されたことからこの名がついている。

下池

遊歩道

大山公園

上池

日本の「ため池百選」とは

全国21万箇所の「ため池」の中から特に優れた「ため池」を農林水産省が選定したもの。

食料生産の場である農地を潤す水源として、また、地域活性化の核としての保全活用を評価し、「ため池」の多様な役割や保全の必要性を広くPRしている。

水^み
土^ど
里^り
ウオーク

おおやまかみいけ しもいけ

大山上池・下池

日本の「ため池」百選

ラムサール条約登録湿地

ため池に親しもう

平成20年10月、大山上池・下池が、ラムサール条約湿地として認められた。

国内では現在は37箇所あり、県内では大山上池・下池が初の登録となっている。池周辺には、1年を通じて二百種近い野鳥が確認されており、中でもガン、カモ類の飛来が多い。

大山上池・下池は、山形県鶴岡市の西部に位置する大小2つの淡水の池で、面積は上池が約15ha、下池が約24haにも及び、古くから農業用ため池として使われてきた。庄内地域の田畑を潤す重要な役目を担っている。

また、農業用水としてだけではなく、池の周りはジョギングコースとしても大人気だ。ジョギングコースの途中には、おうら愛鳥館という野鳥観察小屋があり、野鳥の観察をすることができるようになっている。夏には満開の蓮の花、冬にはたくさん野鳥を見ることができ、四季折々の季節を楽しむことができる。

また、平成22年には、ため池の歴史や保全活動が評価され、日本の「ため池百選」に選定されている。

